

早期臨床体験実習 I (Early Clinical Exposure I)

【責任者/担当者】

〔臨床教育統括センター〕 臨床教育統括センター長、柏 薫里 講師
〔医学教育センター〕 蓮池 由起子 医学教育センター長、庄司 拓仁 講師
〔医学教育学〕 常見 幸 准教授
〔兵庫医科大学教養部門〕 福島 和明 主任教授、山崎 尚 主任教授

【担当者】

〔医学教育センター〕 今西 宏安 准教授
〔臨床教育統括センター〕 平野 公通 准教授、各教員
〔兵庫医科大学教養部門〕 各教員
〔神戸キャンパス〕 土田敏恵 副学長、賀屋光晴 准教授、各担当教員

【目的】

早期臨床体験実習 I (Early Clinical Exposure I) は病棟での実習とチーム医療入門からなっている。病棟実習では、医学部に入学したばかりの学生が実際に医療の現場を見学し、また看護や介護を体験することにより、医学生としての自覚をもち、医師への動機をつけることを目的とした臨床医学実習である。専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、病を得た方の気持ちを理解し、看護師の仕事を体験し、他のコメディカル学生との交流も行う。その中から、将来医師となるべき自分が今後何をなすべきかを自覚する。疼痛に対する理解を深めることもテーマである。チーム医療入門では、神戸キャンパスで医・薬・看護・リハビリテーション学部の学生全員が、健康や生命倫理などのテーマについて議論する。4 学部の学生が共に学ぶことにより多職種連携教育の下地を作ることが目的である。

【科目キーワード】

「早期臨床体験(Early Clinical Exposure)」 「チーム医療教育(Inter-professional education)」

【到達目標(アウトカム)】

- 医療の現場を体験することで、医学が社会でどのように役立っているのかを説明できる。
- 患者さんの立場を知り、それを助けている医療職のひたむきな仕事ぶりに触れる。
- チーム医療入門では神戸キャンパスの学生と協調することができる。
- 患者さんの痛みを理解することができる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・医療の持つ社会的側面の重要性を理解している。
- ・健康な社会づくりを理解している。
- ・医療資源の乏しい地域における医療の問題を理解している。
- ・プロフェッショナリズムを理解できる。

- ・医の倫理、生命倫理について理解している。
- ・他者を理解し、互いの立場を尊重できる。
- ・医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなるチーム医療を理解している。
- ・他者の立場を考えて接することができる。
- ・患者の苦痛を知っている。
- ・自己管理能力を身に付け、自ら学修できる。
- ・同級生と教え合う態度を養成できる。
- ・ICTを活用し、疑問点を解決するための情報を収集して評価することができる。

【概要ならびに履修方法】

6月24日(月)～6月26日(水)、6月28日(金)は兵庫医科大学病院での実習。小グループに分かれて各病棟に配属され、看護部の協力の下に看護の現場を体験する。6月24日(月)に説明会ならびにコミュニケーション教育を行う。実際の実習は6月25日(火)～6月26日(水)の2日間である。6月28日(金)は発表会を行う(6月27日(木)は関学授業日)。実習当日だけでなく6月24日(月)も身だしなみを整え大学指定のケーシー型白衣着用のこと。

なお、留年生については、2年目も兵庫医科大学病院の病棟で実習を行い、3年目の学生については、特別カリキュラムとして教務委員会で実習先を決定する。

9月11日(水)～13日(金)は神戸キャンパスにて4学部合同の「チーム医療入門」がある。このプログラムは、多職種連携教育(IPE)の一環として実施され、他学部生と協力しながら問題解決を行う。集合時刻、場所に注意すること。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

6月末の兵庫医科大学病院における病棟実習では、初日のガイダンスをよく聞くこと。9月の神戸キャンパスにおける「チーム医療入門」では、前もって予習資料をMoodleに公開する予定。開始当日までに自己学修しておくことが求められる。

【成績の評価方法・基準】

本実習の成績は、西宮キャンパスで行う実習を50%、神戸キャンパスで行う実習を50%とする。西宮キャンパスで行う実習は、病棟実習、実習記録、発表会の評価をそれぞれ同じ割合で評価する。神戸キャンパスで行う実習は、グループワークとピア評価の合計で評価する。態度不良などは、いずれの実習でも減点の対象となる。

病棟実習では、出席、各部署からの評価、実習態度、レポート、他学部からの評価などを総合的に評価する。特に患者さん、医療スタッフからのコメントは重視する。

レポートなどの提出方法については追って指示する。レポートは自分自身で作成し、オリジナルな内容を記載すること。他者のレポートや他の文献、ホームページからの盗用、剽窃は最も恥ずべき行為であり、不合格とする。盗用検索ソフトでチェックする予定である。

実習であるので皆勤が原則である。止むを得ない事情以外による欠席や遅刻、態度不良や積極性がみられない場合は不合格とし、程度に応じて点数をつける(44 点以下とする場合もある)。たとえ止むを得ない事情があっても遅刻・欠席する場合も、可能な限り事前に連絡する努力をしたかどうか問われる。事後の報告は評価されないと心得ること。

患者さん、医療スタッフ、職員などとのトラブルは厳禁。内容に応じて不合格だけでなく、停学、退学など厳しい懲戒処分の対象となる。患者さんの個人情報にも留意すること。個人情報の漏洩や SNS などへの発信は不合格だけでなく懲戒処分の対象となる。

チーム医療入門では、4 学部の学生で行うグループワークへ参加する際の態度、積極性、協調性などと、発表および成果物が評価の対象となる。また、グループワークでの貢献度をグループのメンバーが互いに評価するピア評価を実施する。

【学生への助言】

配属される施設、部署によって実習内容や評価基準が異なるのは当然である。真摯な態度で積極的に参加すれば不合格になるはずはない。実習目的の無理解、止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如などは当然不合格である。自信のない者は進級にかかる教育的配慮を受けられるように、他の科目・カリキュラムにすべて合格すること。

【フィードバック方針】

実習やグループ学習による総括的評価なので基本的にフィードバックはしない。

【オフィスアワー】

講義形式ではないので、オフィスアワーは設定していない。

【受講のルール、注意事項、その他】

本科目は医師となる資質を涵養し、その成長を評価するための科目である(Fitness to Practice)。また、病棟での実習がそこで働く医療関係者や患者さんの厚意によって実現していることを決して忘れてはいけない。この科目外であっても医学生に相応しくない行動、態度があるとされた場合は、教務委員会等における審議を経て、受講不可もしくは不合格とする場合がある。

健康診断や予防接種の期限までの未受診、遅刻の場合は実習に参加できない。時間やルールを厳守することは医療者にとって最低限のことである。その教育的効果を鑑みて厳格に適用する。止むを得ない事情で追実習になった場合も、全体の正規の発表会にも出席し、情報や体験を共有すること。加えて追実習の発表会で発表を行うこと。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況によってはオンラインで運営することがあり、その場合は追って通知する。新型コロナウイルスの予防接種については、追って指示するのでそれに従うこと。遵守できない場合は実習に参加できない。

病棟での身だしなみについて

学生は、患者さんを診察するのに相応しい身なり(服装、履物、髪型など)で実習に臨むこと。判断の基準は、患者さんの立場にたつて、不審、不快でないと思われること。不適切な学生は参加させない。

〈白衣(ケーシー)、名札〉

- ・こまめに洗濯し、交換すること。しわ、汚れやしみのあるもの、破れたものは着用しない。
- ・ずり落ちたズボンなどサイズの合わないものは着用しない。裾上げ等を必ず事前に行うこと。
- ・半袖ケーシーの襟や袖からアンダーシャツ、長袖を出さない。厚手の下着等で調節すること。
- ・肌、下着、Tシャツ等の柄などが白衣やケーシーから透けてはならない。
- ・名札は必ず着用し、胸の位置につける。首からかけるタイプは不可。

〈履物〉

- ・白色の運動靴、上履きを着用(サンダル、スリッパ、下駄、合成樹脂性の履物は不可)。
- ・靴下は必ず着用し、白色を原則とする。くるぶしが十分隠れるものを着用すること。

〈頭髪〉

- ・感染予防の観点から白衣に付着させない。
- ・寝癖や乱れを整える。
- ・茶髪の染髪、染髪を隠す黒彩は不可。
- ・女子で白衣にかかる場合は髪をまとめ、ポニーテールではなくお団子にすること。まとまりにくい場合はヘアピンやネット等を使用し、髪が飛び出さないようにする。
- ・男子は髪が襟にかからないこと。(後ろでまとめるのは禁止)
- ・男女とも長い前髪は不可。

〈その他禁止事項〉

- ・ペインティングした爪
- ・アクセサリー、過度の化粧や香水
- ・カラーコンタクト
- ・刺青、タトゥー
- ・すべての種類のひげ、長いもみあげ
- ・喫煙
- ・白衣での外出など

〈マスクについて〉

・マスクは原則として白色で一定の性能を有するマスク(不織布製)を着用すること。

【教科書】

Moodle 上で公開された予習資料を自己学修する。

【参考書】

特になし

【連絡先】

教育研究棟 2 階 西宮教学課
化学主任教授室